

平成20年度 中学校「理科」フレッシュ研修 実施要項

- 1 目 的 教職経験2～7年目の教員を対象に、基本的な観察や実験を含む研修を行い、その資質と指導力の向上を図る。
- 2 対 象 者 中学校、府立支援学校（中学部）〔八尾市立特別支援学校を含む〕の教職経験2～7年目の理科担当教員
- 募集人数 各回30名

3 研修内容等

回	日 時	研 修 内 容	講 師 等
1	8月25日（月） 9:30～12:30	太陽活動と天体望遠鏡の使い方 太陽活動は今年初めに新しい周期へ入り、これから黒点やプロミネンスが増加していく。数年後に迎える極大期に備えて、太陽の構造や現象について解説するとともに、天体望遠鏡の使い方と太陽観察の実習を行う。 〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員
2	14:00～17:00	昆虫教材に慣れる 背骨の無い動物の代表である昆虫教材に慣れることを目標にする。秋に使えるコオロギを用い、そのライフサイクルを理解した上、形態の観察、行動の観察などを通じて昆虫一般に対する理解を深める。 〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員
3	8月27日（水） 9:30～12:30	中学校2年における物理領域の基礎実験 「電流と回路、電流のはたらき」などの物理領域の基礎的な実験を中心に、安全かつ確実に実験を行うための要領や、実験を取り入れた授業づくりで気を付けることなどを実習を通して解説する。 〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員
4	14:00～17:00	化学変化と原子・分子 化合や分解などの化学変化を、原子・分子のモデルと関連付けて興味深く探究させる方法を探る。「化学変化における量的な関係」等の実験を通して、実験指導のポイントを解説する。 〔講義・実習〕	大阪府教育センター職員
5・6	8月29日（金） 10:30～17:00	電子顕微鏡でタンパク質を見る 電子顕微鏡を用いて蛋白質の構造を決定するという新しい技術の開発とそのインパクトについて知り、実際に電子顕微鏡装置と蛋白質の像を見る。具体的には、蛋白質、特に膜蛋白の3次元構造の観察によって、どのようなことが解ってきたかについての、現状を知る。 〔講演・見学・実習〕	京都大学大学院 理学研究科 教授 藤吉 好則

留意点 教職経験年数と希望する回を受講推薦者名簿のコメント又は備考欄に必ず記入すること。

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田 4 丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

第5・6回については現地集合：京都市左京区北白川追分町（京都大学北白川キャンパス）京都大学理学研究科1号館1階に10時30分までに集合

5 担 当 室 理科第二室

6 そ の 他 (1) 自家用自動車等で来所しないこと。
(2) 受付は30分前から。
(3) 印鑑を持参すること。
(4) 第3回～第6回は理数系教員指導力向上研修として、(独)科学技術振興機構の支援のもとに教育センターが実施する。

一括募集